



延喜式内名神大社

# 生島足島神社便り

## Vol.52



|                   |   |
|-------------------|---|
| ごあいさつ .....       | 2 |
| 生島足島神社 七不思議 ..... | 3 |
| 年末年始の行事 .....     | 4 |



生島足島神社  
ホームページ

# ごあいさつ



宮司 宮川 清彦

令和の代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで

十月二十二日、即位した事を内外に示す即位式、「即位礼正殿の儀」は滞りなく厳かに取り収められました。

氏子、崇敬者の皆様には、常日頃より皇室敬慕の念も深く、ともに祝う真心をお捧げいただいた事と拝察いたします。

冒頭に記した思いを生島神・足島神にお伝えいたしました。折悪しく延期されたパレードは十一月十日、大安の小春日和の中で、晴れやかに執り行われました。テレビの前で参列された方も多いと思います。

そして前日(九日) 皇居前広場で行われた「天皇陛下ご即位をお祝いする国民祭典」では人気グループ嵐が熱唱しています。平成の御代にも十年ごとに奉祝行事が行われ、X JAPANのYOSI K Iをはじめとして二十年にはEXILE(エクザイル)、三十年にはユーミン・ゆずなど、時代のトップランナーたちがお祝いの心を音楽

に託しています。

奉祝の機運はますます高まりを見せ、天皇陛下は一番大切な、厳かにして「日本」という国が神さまとともに今にある、御代の中で二度きりしかないお祭りに臨まれています。

即位後初めて五穀豊穣を神に感謝する「大嘗祭」です。例年は新穀を天照大御神様はじめ、天の神様・地の神様にお捧げして五穀豊穣に感謝する「新嘗祭」が十月二十三日に行われます。ご即位の年の今年は大新嘗祭というべきお祭り【大嘗祭】に替わり、日にちも十月十四日及び十五日の二日にわたりました。二十三日の日は祝日に変わりはありませんが、勤労感謝の日として新嘗祭は行われません。

全国の神社では新嘗祭に替わり「大嘗祭奉祝奉告祭」を十四日もしくは十五日に行いました。当神社では「慣例の日時でもよい」という神社本庁の指導もあり、大嘗祭奉祝報告祭を二十三日午前十時より斎行しています。これは五穀豊穣に感謝するお祭りが、例年の祝日の日時であれば、より多くの方々にお詣りいただけるだろうとの思いによりです。

さて、即位の年のみに行われる大嘗祭は皇居の中で行われ、天皇ご自身が神様に新穀をお捧げになります。更に自らも食して神様と一体になるお祭りで、国の安寧と五穀の豊穣を祈られます。斎行するにはまず、大嘗宮と総称される儀式殿が皇居の中に作られ、その中の悠紀殿・主基殿という建物の中でとり

進められます。

十一月十四日の夜、悠紀殿で行われる「夕の儀」は、天照大御神様・天の神様・地の神様に新穀をお捧げし自らも食されています。日付が変わり十五日未明には、主基殿で「暁の儀」が行われ、同じように新穀をお捧げし自らも食されました。御神座は南西の方向に設けられ、伊勢の神宮に向いています。

農業を中心として栄えてきた我が国の、収穫儀礼に根ざした、二世度のお祭りでの長い伝統を受け継いで今日に至ります。

神様とともに奉られたお食事を召し上げることは、百二十六代に及ぶ皇統が強く感じられ、神国日本がいまに続いていることの頭れです。そして伊勢の神宮の六十二回にも及ぶ式年遷宮に思いが巡り、永遠に栄えていく基ともいえる最も大切な儀式です。当神社で大嘗祭奉祝報告祭がおこなわれた二十三日は、多くの参列者とともに、氏子・崇敬者の皆さんが多数お詣り下さいました。両陛下の御安福と平和な世の中をお祈りされる真心に深く感謝申し上げます。

さて年の瀬からお正月も目の前となってきました。痛ましいこともありましたが、令和の御代に沸き立つ晴れやかさがあつて締めくくられる一年であったように思います。令和初めての正月は福を感じ、晴れやかにお詣りいただけるよう準備を進めています。大晦日の大祓の後には、「足島むすび」も参列の皆様にお渡しします。よいお年をお迎えください。

## 主な境内改修

年号が変わり新たな時代を迎え、参拝される方々をお迎えするにあたり、安全で心安らぎ、何度も訪れて頂ける神社になるように、継続して改修を行っています。主なところを紹介いたします。

### ●車お祓い所



ダルマ倉庫シール貼り付け

歌舞伎舞台北側にあるプレハブの倉庫3面に御本社本殿の写真シールを張り付けました。車のお祓い所の雰囲気が変わりましたのでぜひご覧ください。

### ●御本社東側フェンス



御本社東側フェンス 完了

御本社本殿東側橋の上にあった絵馬掛けの根元が錆びて強風により倒れた為、池の景色が見えるように夫婦ケヤキ西側に移し、落下防止のフェンスを取り付けました。



# 生島足島神社

## 七不思議



禰宜 池内宣裕

### 一、神池には蛙がいない。

下宮に祀られる諏訪大神（諏訪様）は水神・風神・雨神や農耕神ともいわれ、神格が龍や蛇、神使が蛇とされています。蛙（カエル）は禁忌の動物であり、毎年正月の一月十五日に御神橋から神池の中に向けて蛙を弓矢で射る蛙狩神事が執り行われます。



### 二、神池の色が日々変わる。

その日により深緑だったり黄色がかったり青系の色などに見えます。島を中心に周りを池で巡らし神様をまつるかたち「池心宮 園池」という我が国の古い様式が残っています。

### 三、太陽が、夏至には東鳥居の真ん中から上がり、冬至には西鳥居の真ん中に沈む。

「leyline」「太陽の線」などではとも、東西の参道がお日様の至点と計算されているといわれています。

### 四、境内には主といわれる大蛇が住んでいる。

池の土手に穴を空け崩したりするといわれる蛙が、境内の蛇に吞まれるといわれ、現在でも屋敷神とよばれる大きなアオダイショウが棲息しています。



### 五、下宮（摂社諏訪神社）御垣内、イボ石とよばれる磐境の頂部に溜まった水をつけるとイボが取れると云われている。

昔、近郷の村人達が落下した一つの隕石を荷車で神社まで運び、御垣内の東西に奉納したものがイボ石といわれています。現在でも県内外からイボを取りたいと願う参拝者が後を絶たず、イボ石の水に浸した白石を戴き、イボが取れた暁には河原で拾った白石を二個三個と増やし御礼参りとしてイボ石（磐境）の頂部にお返しします。



### 六、下宮（摂社諏訪神社）の前には樹齡八百年以上の「夫婦榊」とよばれる榊の大木があり、榊の空洞の中にある男女の象徴に参拝すると子宝に恵まれると云われている。

下宮御本殿を再建した真田信幸公と奥方小松姫の夫婦愛にも因み、いつの頃からか夫婦榊とよばれていきます。良縁子宝・安産子育・夫婦円満・健康長寿の御神徳があるとされ、特に戌の日には、子宝安産を願う大勢の女性が参拝に訪れます。



### 七、古代から国の真ん中でお祀りされてきた生島大神、足島大神を正確な地図の無かった時代に、当地塩田平を国の真ん中とみて二柱の大神をお迎えしお祀りしたこと（生島足島神社の創始）。

生島大神、足島大神が祀りされている神社は全国的にも珍しく、近畿地方を中心に数社しかなく東日本では当社のみです。他は皇居内宮中三殿の二神殿にお祀りされています。



#### ● 神島南側



御本社裏笹刈り後

御本社本殿裏、笹が群生し荒れ放題になっていた為、総代全員で笹刈り、藤蔓切りを行いました。

#### ● 鳥居改修



鳥居 修復中

参道の大鳥居が写真のように木が腐っていたため改修しました。

#### ● 排水処理



排水処理 作業

雨が降ると御本社本殿前、西門、歌舞伎舞台に池のように水がたまる為、自営にて排水処理の工事を行いました。

### 年末年始のお知らせ

## 十二月の大祓式

令和元年十二月三十一日 十五時〜

大晦日の大祓の後には、「足島むすび」を参列の皆様にお渡しします。二年の感謝を込めて生島神様足島神様にお供えした赤飯のおむすびです。神事の後にお渡しします。数に限りがありますのでご了承ください。よいお年をお迎えください。

## 二年参り市

令和元年十二月三十一日 二十三時頃〜  
二年一月一日 AM 三時 (時間限定)

平成から令和への御代替わりの年も終わります。二年参り用の「御礼だるま」(平成の時代に感謝し御本社に納めます)と、「新年度の祈願福だるま」(新しい令和の時代に幸せと福を込めて)を、セットで割引授与いたします。ただし、個々の目入れ・清祓い等はおこないません。(合同清祓いたします。)



## 福だるま市

令和二年一月一日 AM 八時〜十五日迄

「新年福だるま」は、一般の販売ダルマと異なり、ご祈祷・お祓いし、福銭・御神札と合わせて授与いたします。また、希望者には神楽殿にて、無料での目入れ(片目開眼)と巫女による鈴祓いをおこないます。なお、駐車場料金は無料にてお越しをお待ちしております。又、本年は福升も各文字限定品(各五十個)用意していますので、お早めにお越しください。



# 初詣

新年一月中  
執行しております

## お守り、縁起物の授与

今年度は令和初めてのお正月として、新たな授与品を多く取り揃えております。授与所では、十月の御大典にあわせて頒布を始めました「特別錦御守(初穂料壹千円)」を引き続き授与しております。新しい御代を迎え皆様の災難除けと幸せを念じた特別御守です。是非お求めください。

神楽殿では、去年好評いただいた巫女による「手作り破魔矢(初穂料千五百円)」を今年は「種類頒布いたします。また新たな手作り品として「手作り熊手(初穂料千五百円)」もご用意いたしました。どちらも

「令和」奉祝の思いも込めて、二つ丁寧に奉製しております。手作りですので数に限りがございます。お求めの際はお早めにお越しください。

また、今年には神楽殿で授与しております縁起物を大きくリニューアルいたしました。お求めやすい物から、事業所向けの大きな熊手(初穂料壹万五千円・個数限定)など、



幅広く頒布しておりますので、お参りの際は是非お立ち寄りください。

その他、だるまの目入れ・巫女による鈴祓いや下宮(諏訪神社)回廊にて御神酒・福鉛の振る舞い等を今年も引き続き行っております。

令和初めてのお正月はご家族お揃いでお参りください。お待ちしております。

## 写真室からのお知らせ

写真室では成人式のお写真・振袖レンタルを承っております。

お早めのご予約をお勧めいたします。

また、卒業式の着物・袴のレンタルもご用意しております。節目の記念はぜひ、お写真を残しましょう。



写真室 Tel 〇二〇一八六二一七五三